時代を超えて人の思いを伝承する和歌浦を散策

この地域は紀州徳川55万5千石にまつわる神社・仏閣・史跡等が数多く残されています。和歌浦の美しい景勝を代表する和歌川の河口部にある干潟も見所の一つ。時代を超えて古の変わらぬ風情と潮の香りを楽しみながら散策してみては？

片男波公園

万葉集にも数多く詠まれている和歌公園内の片男波地区。和歌浦湾に注ぐ和歌川の河口部に延長千数百メートルにも及ぶ狭長の砂州半島です。

和歌祭

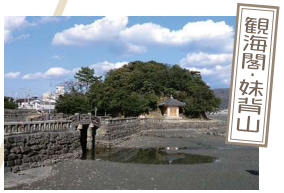
1622年に始まり、古くは日本三大祭と呼ばれました。神輿おろしや渡御行列が紀州東照宮を出発して和歌浦周辺を練り歩きます。5月第2日曜日。

五百羅漢寺

1764年（明和元年）徳川重倫の祈祷寺として建立されたお寺。ご本尊は重倫の母清信院が寄進した釈迦如来坐像で、本堂の中に羅漢様が並んでいます。

不老橋

徳川治寶の命により、紀州東照宮の和歌祭の際に、片男波の御旅所に向かうための御成道に架けられたアーチ型の石橋です。



観海閣・妹背山

三断橋は慶長期に建造された県内最古の石橋。橋を渡ると妹背山で、頼宣ゆかりの観海閣や多宝塔があります。

塩竈神社

境内には山部赤人の有名な「若の浦に潮満ち来れば潟を無み　葦辺をさして鶴鳴き渡る」の万葉歌碑があります。

弥勒寺山とも呼ばれます。織田信長が紀州雑賀を攻めたときに、雑賀衆がこの山上に城を構えて防戦したという伝えがあります。

養珠寺

徳川頼宣の生母養珠院の菩提寺。釈迦堂前にはゴジラやガメラ、バルタン星人が鎮座しています。

紀州伝統の祭り「和歌祭」コース

スタート地点までのアクセス　和歌山バス「新和歌浦」バス停下車

スタート&ゴール
おっとっと広場
「新和歌浦」バス停
新和歌浦
酒店
絶景ポイント
和歌浦天満宮
紀州東照宮
絶景ポイント
御手洗池公園
権現前
和歌浦小学校
和歌浦支所
和歌公園
明治時代から続く和歌浦のメインストリート。歴史を感じさせる建物も多い。
明光商店街
和歌浦郵便局
151
あしべ通り
古くから和歌の神様として多くの歌人の信仰を集めてきた神社。
徳川頼宣が建立。生母 養珠院が祀られています。
雲蓋院
妙見堂
旧南消防署望楼
和歌浦
養珠寺
42
海岸通り
奠供山／望海楼
玉津島神社
和歌の浦アート・キューブ
和歌浦
塩竈神社
安産の神様として有名
不老橋
三断橋
海禅院多宝塔
観海閣／妹背山
妙見山の山頂にある昔の火の見櫓。津屋公園から登っていくことができます。
和歌浦口
南消防署
五百羅漢寺
秋葉大権現堂
秋葉山
パン屋
県営水泳場
水軒口
秋葉山公園
円珠院
片男波公園
万葉館
様々な角度から万葉集を学ぶことができます。
和歌の浦アート・キューブ
塩竈神社
不老橋
0
200m